



進路だより

大阪府立東淀川支援学校 進路指導部 令和6年7月17日 第4号

進路だより第4号では、中学部2年進路・社会体験学習についてと、高等部の校内・現場実習の内容をお伝えします。

中学部2年

進路・社会体験学習「カップヌードルミュージアム」の見学と体験が6月19日（水）にありました。館内では12種類の具材から4種類のトッピングと好みのスープの味を選択し、オリジナルの“マイカップヌードル”を作りました。身近な商品の製造工程を体験する良い機会となりました。



高等部1年

高等部に入学して初めての校内実習を行いました。ステッフル・蝶番の組み立て、広告チラシ作り、塩の計量や袋詰め、機械部品・ファイルの解体仕分けなどグループに分かれて取り組みました。店で販売されている商品を見ながら自分で製品にしていく貴重な体験をすることができました。初日は緊張していましたが日を重ねるごとに慣れていき、「丁寧な作業」や「報告・連絡・相談」もスムーズにできるようになり、友だちと協力して作業を行う楽しさも経験することができました。

6月20日（木）、CD班の生徒は企業見学でクボタワークス（株）に行きました。クボタワークス（株）では、施設の清掃や印刷などの業務を行っており、今回はモップを使ったビルの階段清掃の様子を見学しました。実際に働いている様子を見て、「働く」イメージが少しできたようです。振り返りでは、「あいさつと報告の大切さがわかりました。」「働くためには、責任感、コミュニケーション、やる気が必要だと感じました。」「明日からの実習では、商品を大切に、集中して取り組みたいです。」など様々なことに気づくことができました。



高等部 2 年

高等部 2 年生は、ステップルの組み立て、蝶番の組み立て、広告チラシ作り、塩の計量や袋詰め、機械部品の解体等を、それぞれのグループに分かれて行いました。3 回目の実習ということもあり、手際も良く、落ち着いて丁寧に行うことができました。作業をしながら、時間内に自分で達成したい個数を目標にし、達成できるように努力する場面もみられました。また、実習前に立てた自分の目標を意識しながら作業を行い、「報告・連絡・相談」もできるようになってきました。

現場実習には 7 名が参加しました。学校とは違う環境や初めての現場の実習に緊張して戸惑うこともありましたが、一人一人が「働く」という責任を持つことを意識して実習に取り組めたことは、自信につながったと思います。

実習を終えて、「仕事」や「将来」に対する目標や目的意識が少しずつ感じられるようになってきました。実習での学びを今後の学校生活でも活かし、働くために必要な力を一つずつ積みあげていってほしいと思います。

高等部 3 年

高等部 3 年生は、2 週間の校内現場実習を行いました。現場実習では生活介護、就労継続支援 B 型、就労継続支援 A 型、就労移行支援、自立訓練事業所で 2 日～5 日間、企業は 2 週間の実習を行いました。場所や関わる人たち全てが初めてのことで慣れないこともあったと思います。途中で体調を崩したり、大雨のおそれがあったりと予測のつかないこともありましたが、それぞれが掲げた目標に向かって取り組み無事に終えることができました。

校内実習ではステップル、蝶番の組み立て、塩の計量袋詰め、箸袋やランチプレートの旗作り、ファイルの解体、機械部品の解体仕分けなど、初めて扱う材料がたくさんありました。いずれも市販される商品として意識を持って取り組みました。最終学年として進路決定に関わる大切な実習でした。事前の全体指導（決起集会）では、運動会に掲げたテーマをもとに「それぞれの成功到達点をめざしてがんばるぞ！」のコールをし、事後の全体指導では「これからも、それぞれの成功到達点をめざしてがんばるぞ！」のコールをして次への意欲を高めました。